



# 愛宕坂だより



橘曙覧生誕 200 周年  
2012 (平成 24) 年

新年号 No.27 2012.1.10

発行：福井市橘曙覧記念文学館・福井市愛宕坂茶道美術館

福井市愛宕坂茶道美術館企画展

## 「墨絵の美～白の静寂 黒の躍動～」

平成 23 年 12 月 14 日(水)～平成 24 年 3 月 6 日(火)  
会期中無休

「墨に五彩あり」 墨一色で表現される墨絵の世界は、にじみ、かすれの技巧により無限の表情をみせます。味わい深いその美しさは、墨色と余白の白との絶妙なコントラストの美にあるともいえます。今回の展示では、雪村、伊藤若冲、松花堂昭乗の作品を中心に、幽玄な墨絵の美しさをご紹介します。

— 展示品 —

- ・伝雪村周継筆 蕪図
  - ・伊藤若冲筆 芋名月図
  - ・伊藤若冲筆 双鶏図
  - ・松花堂昭乗筆 寒山拾得図
  - ・色絵備前水仙香合
- ほか 全 21 点

福井市橘曙覧記念文学館 企画展

## 「曙覧の住まいと暮らし」

平成 23 年 12 月 1 日 (木)  
～平成 24 年 3 月 20 日 (火・祝)  
会期中無休

橘曙覧には、居宅周辺に関する記述や歌が残り、その暮らしを想像することができます。

今回の展示では、曙覧が生まれた家周辺の様子や家族 5 人で生活した居宅「藁屋」のあった場所とその家での暮らしぶりを残された歌や逸話、昔の地図などからご紹介します。展示から曙覧の生き方について考えていただければ幸いです。あわせて館蔵資料の展示を行います。

— 展示品 —

- ・橘曙覧筆和歌幅「鷹狩」
- ・橘曙覧筆和歌屏風
- ・『志濃夫廼舎歌集』 (初版本) ほか 全 15 点



福井市愛宕坂茶道美術館特別展

## 「北大路魯山人展」

平成 24 年 3 月 10 日(土)～4 月 22 日(日)  
会期中無休

書画に、陶漆芸に、そして食に、人並み外れた情熱でただひたすら「美」を追い求めた北大路魯山人 (1883～1959)。その人生と残された多くの作品は、没後 50 年余りを経た今もなお人々を魅了し続けています。

今回は「茶」「書画」「器」の 3 つのテーマで作品を展示いたします。多彩な分野に才能を発揮した「北大路魯山人」の世界をどうぞお楽しみください。

— 展示品 —

- ・古染付鯰形向付
- ・色絵鉄仙図鉢
- ・扁額「愛吾廬<sup>あいごろ</sup>」
- ・布張茶器 (漆絵)

ほか 全 21 点



北大路魯山人  
写真：土門拳

福井市愛宕坂茶道美術館特別展 関連企画  
ギャラリートーク

### 「知られざる魯山人の漆器の魅力」

と き：3 月 18 日 (日) 13:00～14:00  
(家庭の日のため入館無料)

ところ：愛宕坂茶道美術館 2 階企画展示室  
講 師：五代目 辻石齋氏 (山中塗 塗師)

二代目辻石齋氏は魯山人と共に山中塗の漆器を制作した方です。今回はその子孫である五代目辻石齋氏が作品の解説と共に、知られざる魯山人のエピソードをお話します。ぜひご参加ください。※申込みは不要ですが、来場者多数の場合は、入場を制限させていただきます。

## いろいろトピックス

◆美術館 ◆文学館

### ◆「外国人のための茶道体験講座」を行いました。

11月3日(木・祝)、英会話講師坪田留美子氏を講師に迎え、中国、フランス、ウガンダ、ラオス、メキシコの5カ国より、午前の部、午後の部合わせて21名の外国人の方々に参加いただきました。



茶室の見学、道具の説明の後、実際に自分でお抹茶を点てました。参加者は「とてもおもしろかった。茶道は興味深い。」「茶道の精神や日本の伝統文化をもっと勉強したい。」と話していました。



### ◆冬の朗読会を開催しました。

12月18日(日)に朗読会を開催しました。今年は、FM福井アナウンサーの藤田佳代氏に太宰治の短編作品「美男子と煙草」「愛と美について」を朗読していただきました。池田恵美氏によるヴァイオリン演奏が作品世界を深め、充実したひとときとなりました。



### ◆第17回「平成独楽吟」へのご応募ありがとうございました。

今年は、3月17日(土)にフェニックスプラザにおいて、表彰式と講演会を行います。講演会には作家・新井満氏がお越しくださいます。詳細が決まり次第文学館HPにてお知らせします。

### ◆曙覧関連図書を集めました。

文学館内図書の整理を行い、橘曙覧関連図書をまとめて配置しました。関係のある図書は赤ラベルが貼ってありますので、参考にしてご覧ください。

## 愛宕坂茶道友の会 茶会のお知らせ

と き： 1月15日(日)「初釜」  
2月26日(日)「利休忌」  
3月18日(日)「(名称未定)」

ところ：愛宕坂茶道美術館 茶室「尚庵」  
参加費：一般500円 友の会会員300円

申込みはそれぞれ一週間前の土曜日、午前9時から美術館にて電話受付いたします。先着順になります。各茶会の詳細については美術館までお問い合わせ下さい。

愛宕坂だより 新年号 No.27 (2012.1.10)

◆福井市愛宕坂茶道美術館

〒918-8007 福井市足羽1-8-5 TEL/0776-33-3933

◆福井市橘曙覧記念文学館

〒918-8007 福井市足羽1-6-34 TEL/0776-35-1110

## 福井市愛宕坂茶道美術館特別展 関連企画

絵付け体験

「気分は魯山人！！漆で絵付け体験」

と き：3月18日(日)

10:30~11:30 14:30~16:00

ところ：愛宕坂茶道美術館 4階展示会議室

講師：五代目 辻石齋氏(山中塗 塗師)

参加費：2,000円 定員：50名

直径15cmの菓子盆に魯山人好みのデザイン画を絵付けします。オリジナル作品も大歓迎。申込みは不要です。※少量ですが漆を使用します。肌が弱い方はご注意ください。

## 曙覧よもやま話

「竜」



2012年は辰年。辰には、「竜」や「龍」の字があてられ、今年の年賀状の中には、さまざまな竜の姿を見かけました。■竜の絵は昔から人気のある画題で、よく描かれてきました。曙覧も昇り竜の絵を見たことがあったようで、歌集には絵を見て詠んだ歌がおさめられています。■

「のぼるらむ勢ひ波をゆりたてて摩(す)る墨ながす海ばらの雲(天に昇るであろう竜の勢いが波を揺り動かして、海原には墨を流したような雲がある)。竜が天に昇るときには、あたり一面が真っ黒になるといわれています。曙覧が見た絵には、自然を動かし、天に昇ろうとする力強い竜の姿が描かれていたのではないのでしょうか。■昇り竜にあやかり、今年一年上昇する年にしていきましょう。

## 春・灯の回廊のおしらせ

今年も行灯140個が愛宕坂を彩ります。期間は、4月1日~15日(日)です。愛宕坂周辺ではさまざまなイベントが開催されます。どうぞお楽しみに。

## — 休館日のご案内 —

福井市愛宕坂茶道美術館  
3月7日(水)~9日(金) ※展示替えのため

福井市橘曙覧記念文学館  
3月21日(水)~23日(金) ※展示替えのため

## <編集後記>

あけましておめでとうございます。雪の少ないお正月。初詣は福井神社に出かけました。春嶽公に今年一年の無事をしっかりお祈りして参りました。皆様にとってもいい一年でありますように！今年もどうぞよろしく願いいたします。(T)